

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	火災現場において消火活動中、梯子とともに転倒しそうになった事例
3. 体験した事例の中心的要素	火災現場において類焼建物の消火作業中、他隊員が当該建物1階屋根上で消火作業をしていたところ、濃煙に巻かれ活動に危険を感じたことから、立て掛けてあった梯子を登り梯上から注意喚起を促していたところ、放水による大量の水が流れ落ちていたため基底部分が滑り梯子とともに転倒しそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	付近に誰もいなかったことから、確保なしで梯子を登ったこと（大丈夫だろうという、思いこみ。） 危険予知能力の不足。 経験不足。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 17 年 3 月 20 日 午後 4 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：木造2階建て建物の1階屋根付近
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒、
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動中期、 [木造建物]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	放水活動、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[32]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [初めて]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[32]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[14]年、階級[消防士長]、同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[23]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

.....

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者BとCが	屋根上で消火活動をした。	
経過2	当事者BとCが	濃煙に巻き込まれた。	
経過3	当事者Aが	当事者BとCの危険を感じた。	
経過4	当事者Aが	確保なしで梯子を登った。	
経過5	当事者Aが	当事者BとCに注意喚起した。	
経過6	当事者Aが	梯子基底部が滑り、転倒しそうになった。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

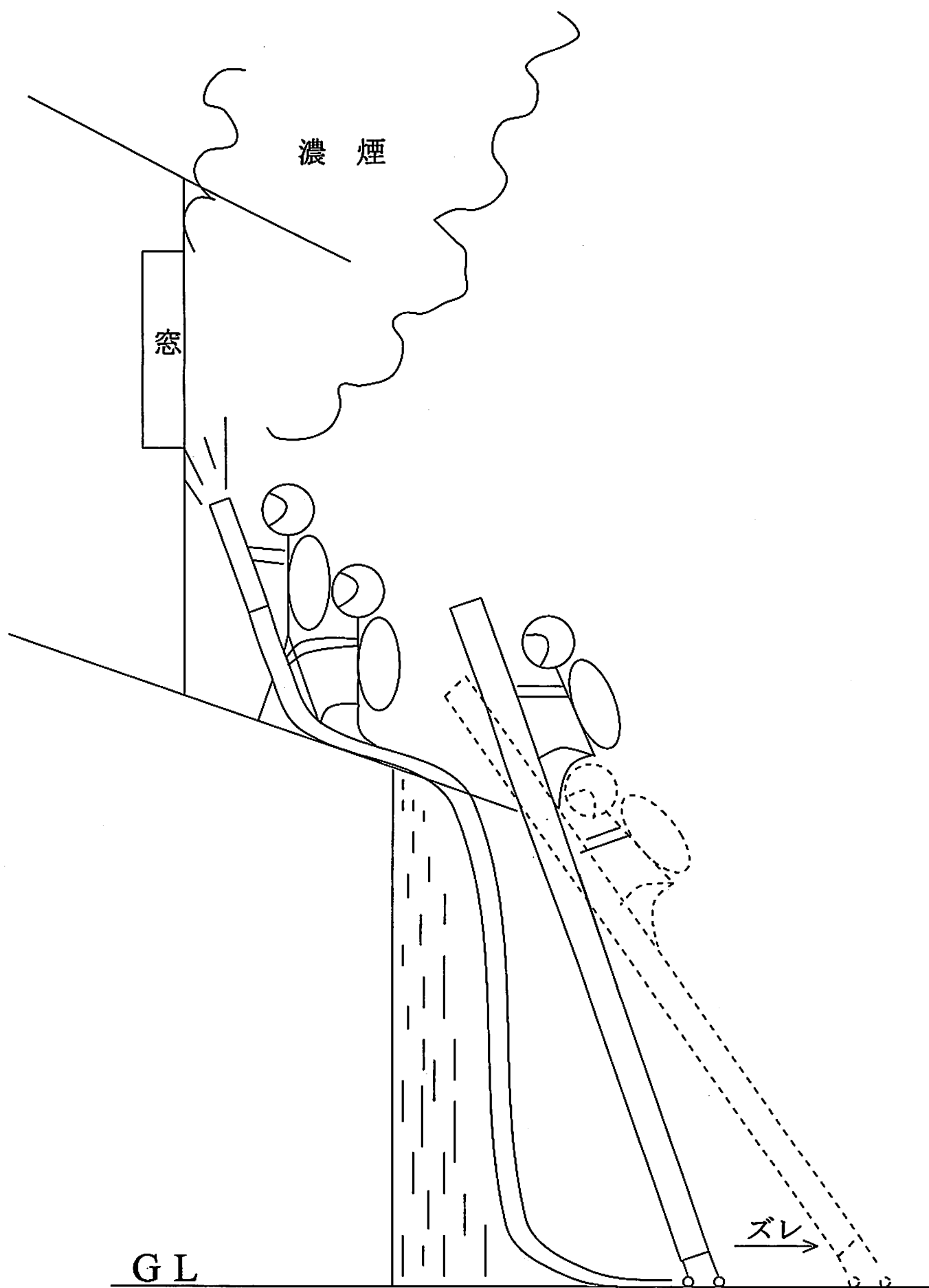
k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ



・発生日時：平成17年3月20日 午後4時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	隊員C	備考
		複数隊の隊長／消防司令補 ・年齢 32 歳 ・勤続 12 年 ・現場 12 年 ・同様の活動: 初めて	車長／消防士長 ・年齢 32 歳 ・勤続 14 年 ・現場 14 年 ・同様の活動: 初めて	隊員／消防士 ・年齢 23 歳 ・勤続 1 年 ・現場 1 年 ・同様の活動: 初めて	
	木造2階建ての建物火災 当該建物1階屋根上で消火活動をした。 濃煙に巻き込まれた。 当事者BとCの活動に危険を感じた。 確保なしで立て掛けてあった梯子を登った。 当事者BとCに注意喚起した。 放水による大量の水が流れ落ちていた 梯子基部が滑り、梯子とともに転倒しそうになった。 付近に誰もいなかった。(大丈夫だろうという、思いこみ。)				

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：行動の意志決定に問題があった。危険予知能力の不足。経験不足。
- ・体力、反射神経等身体能力が優れていた。
 - ・避難・退避がうまくいった。
 - ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- （心理・体調について）
- ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
 - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
 - ・活動に対する経験が不足していた。
- （装備・資機材について）
- ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。
- （活動環境について）
- ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。
 - ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。
 - ・狭隘な場所であった。
 - ・足元が躓いたり滑りやすかった。
- （指揮・管理について）
- ・隊員の連携が不十分だった。
 - ・隊員が不足していた。